

キャラクター名
木隠 桃李 (こがくれ とうり)

プレイヤー名

シンドローム	ソラリス ソラリス	ワークス	FH	レネゲイドビーイングB	カヴァー	庭師
オプション		年齢	43歳		性別	男
覚醒	償い	衝動	飢餓	初期侵食率	37 %	
出自	天涯孤独	経験	喪失	邂逅	(欲望) 飢えを満たす	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	0		1			1	行動値	4
感覚	0		0		1	1	(非装備時)	4
精神	2		0			2	戦闘移動	9
社会	6		0			6	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	1		RC			交渉		
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	FH	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
狂い咲く赤	交渉	6r				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
超血統 (フルブラッド)	P	N		
想い人	P 遺志	N 悔悟		
潤賀匡	P 誠意	N 恐怖		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 12 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ヒューマンズネイバー	1	基+5	常時	至近	自身	自動	RB	
効果: 衝動判定ダイス+Lv 侵蝕率でバブルアップしない								
猛毒の雫	9	2	マイナ	至近	自身	自動		
効果: そのメインボディを行う攻撃で1点でもHPがダメージを与えた場合、更に邪毒(ラウLV)を与える								
オリジン:プラント	1	2	マイナ	至近	自身	自動	RB	
効果: 【感覚】を使用した判定の達成値+[Lv*2]								
コンセントレイト:ソラリス	2	2	メジャー					
効果: C値-Lv (下限値7)								
錯覚の香り	1	2	メジャー/リアク					
効果: 組み合わせた判定ダイス+Lv								
オーバードーズ	1	2	メジャー/リアク	至近	自身	自動	100%	
効果: 組み合わせたワークLv+2 シナリオLv回								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

一人称:俺 二人称:お前さん、アンタ、坊主、嬢ちゃん 匡:坊ちゃん
 「彼岸に逝きな、駄賃代わりに持っていけ。……そら、種は撒かれた。また会う日を楽しみに、なんてな」
 植物型レネゲイドビーイングに寄生されたおじさん。お酒・たばこ大好き。永留尊とは飲み友達。ザルだが下戸を演じてすぐに毒の種を相手の体に仕込もうとする(本人曰くちょっとした冗談) シナリオ1回シーン(選択) ラウ12の邪毒をばら撒くデバッパー。

生まれたときには既に親はなく、とある暗殺者に拾われ裏社会を歩いてきた過去を持つ。昔は無慈悲に人を殺す殺戮マシンのような男だった。そんな中ある女性と出会い、恋に落ちるも桃李を恨む者によってオーヴァードをけしかけられ、目の前でキュマイラのオーヴァードに恋人を食い殺される。「彼女を護れなかった」という激情によりオーヴァードに覚醒。その場で復讐を果たし、彼女を殺したオーヴァードの肉を文字通り食った。衝動による飢餓を癒やそうと衝動的に行った行為だったが、その後“殺した人間を食う”ことが癖づいてしまった。ここでネクロフィリアを自覚したらしく、たまに欲の発散を行うことも。覚醒してからは強力な毒を用いて標的を毒殺し続けた。ある日の任務で“マスター・フォートの暗殺”を請け負い、潤賀匡を殺そうとするものの失敗。何度挑んでも歯が立たず、匡は桃李の毒を何なく克服してみせた。完全な敗北を喫した挙句、暗殺に失敗するたびに匡は桃李をしつこくセルに勧誘。懐に入って寝首を掻くつもりでセルに入ったが、匡に懐柔されたのは桃李の方だった。匡に生まれて初めての忠誠を誓って、組織を裏切り現在に至る。部下は従えず、ひょんなことから側に置くようになった息子と共に今日もれつつお仕事。

匡には絶対的な忠誠を誓う一方で、底知れない恐怖も抱えている。「あれだけ自分を犠牲にする人間は見たことがない」とは桃李の言葉。匡の本質(逃避欲求)に薄々勘付いており、いざとなれば自分が盾になってでも匡を逃がそうと思っている。マスターとしてではなく、1人の人間として匡を尊重し、彼が組織を裏切ったときに手助けをするのは恐らく潤賀セルで彼1人だろう。

「いつか……坊ちゃんが全てを投げ捨てて、自分の人生送れるようになったらいいなあ。そう思ってる自分もいるんだよ。他の奴らが聞いたら怒るだろうが、もうマスターなんてやめてほしいよ」